

第1部 全国エリアマネジメントネットワーク

| 設立趣意：全国エリアマネジメントネットワークの設立について |

スピーカー：保井 美樹氏／全国エリアマネジメントネットワーク 副会長

皆様こんにちは。この度、全国エリアマネジメントネットワークの副会長を拝命致しました保井と申します。よろしくお願ひいたします。

物的な資本整備が都市の価値を生み出す時代から、資本をどのように上手く活用し、質の高い生活を生むのかに真価が問われる時代になりました。

目下、行政だけでも個人・企業レベルだけでも解くことが出来ない社会課題への対応が急務であります。災害の予防や対応、あるいは環境への配慮に対応する仕組みづくりが必要であります。特に東京をはじめとする大都市においては、個人や家庭のみならず企業が多くの土地を所有しています。それが法的な課題にそっぽを向いては社会課題がいつまで経っても解決されません。

都市でビジネスを展開する者たちが、もっと public mind を持って繋がり、次の時代に向けて競争力のある都市経済と持続的な社会を作り出すための仕組みを、私達は地域を限定しつつ、官民が連携して実現していく。そういうエリアマネジメントの仕組みを作っていく事を目的とし、このようなネットワークを設立いたしました。

本日、このような志を持ち実践を進める者たちが集まり、全国エリアマネジメントネットワークを設立いたしましたことを改めてご報告申し上げます。

本ネットワークの始まりは2011年にあります。大丸有のまちづくり三団体が事務局となり、小林先生がリードしてくださった環境まちづくりサロンでエリアマネジメントの活動実態やそれを支える制度、枠組みについての議論が始まりました。

この議論は形を変えながら2014年まで続き、その間に全国リレーシンポジウムなどで提言がなされ、あるいは2015年には最新エリアマネジメントとして本を出版するにいたっております。

この出版発表会の時にサロンとして議論してきた場を、しっかりとネットワークにしていこうという意見が緩やかにまとまり、その後本ネットワークの設立に至るまで設立準備委員会が設立されました。

今日集まっているメンバーはその設立準備委員会で様々な議論を行ってきた仲間であり、ここでは規約等の準備を進めるのみならず、京都大学との連携で全国リレーシンポジウムを行ったり、あるいは小規模なトークセッションを行ったりして、様々な始まりの機運を高めてきました。

そして本日より、エリアマネジメントを行う仲間と、具体的な活動を展開してまいります。本日は何を行っていくのか、主に本年度の活動計画を中心に簡単にお話しさせていただきます。

活動方針は、「交わる」、「深める」、「広める」の3つです。「交わる」はエリアマネジメント組織の交流の場を提供するという事ですが、単にイベントを行うのではなく、そこでの交わりから各地区、各テーマで様々なコミュニティが生まれてエリアマネジメントをますます進展させる経験やノウハウ、価値観の共有が進んでいく事を期待するものです。

「広める」も単にニュースレターを発行するのではなく、ネットワーク会員のそれぞれがエリアマネジメントの実践者として、地域が立ち上がって具体的に動かす努力をすることでこんなにまちは変わるのだという事を示す事により、まだエリアマネジメントに取り組んでいない地域やエリアマネジメントを理解支援して頂きたい方にお伝えしていく仕組みを考えていきたいと思っています。

「深める」は発展途上であるエリアマネジメントの実践をこれから強力に推し進めるために、その評価や改善の仕組みを探り、具体的な政策の提案あるいは制度構築にむけた官民を挙げた議論を行う場を設定していきたいと考えています。

壮大な目標ではありますが、まずは初年度に向けてはこれらのことから始めてまいります。まずエリアマネジメントに関する媒体がある程度定期的に発行され、あるいは情報交換の場が開かれている状況を目指していきます。

また会員間でコミュニケーションが可能になるような方策を検討し、全国ネットワークとしてきちんと事業として成立するかの検討を進めていきたいと考えております。「深める」に関しては、会員にアンケートを行おうと考えております。どの分野を優先的に取り組む必要があるかを検討し、それを踏まえてより具体的な調査・政策の検討について部会で、専門的な部会を設置して進めてまいります。

既に決定しているのは大都市におけるエリアマネジメント推進政策に関する調査研究部会でございますが、この他にも正会員からの提案を受けて展開していきたいと思っています。

2年目、3年目にはさらに活動が深まり広まっていくものと思っています。全国エリアマネジメントネットワークの本会は様々な動きを支える土壌のようなものであります。

もちろん本会が担うべき活動はたくさんあります。その中には、ワーキンググループを作り、会員の皆様にご参加いただきながら進めていく事も含まれていますが、最も重要なのはこれから立ち上がっていくであろう、様々なテーマ・地域での部会です。こうした中でface to faceの意見交換がなされ、テーマや地域を限定したコミュニティがたくさん生まれ、新しくエリアマネジメントを進める地区や新しい取り組みが生まれていくというイメージを考えております。

本日ご参加の皆様方にもぜひ建設的で、積極的なご参加をお願いしたいと考えています。